



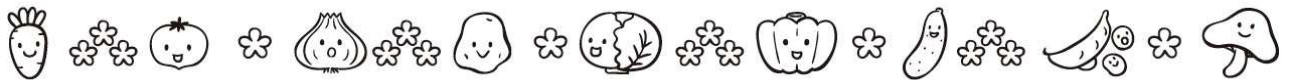
べあーずだより

No. 6 2020. 10. 1



朝晩が涼しくなり、日中も過ごしやすく秋を感じられるようになりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と言われるように秋は何をするにも適した季節で、子どもたちもモリモリ食べて、好きな絵本を見たり、走ったり飛び跳ねたりして元気に過ごしています。

だんだん色づく木々の葉など深まる秋を感じながら戸外遊びを楽しみ、秋の自然や味覚に触れているいろいろなものに興味もてるように関わっていききたいと思います。



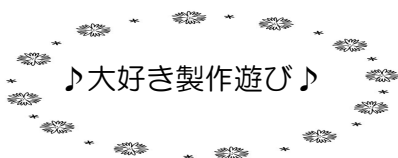
離乳食がスタートし、いろいろな食材を少しずつ食べ始めました。離乳食が終わると“もっと食べたい”と泣いてアピールすることもあります。

お座りが安定してきて一人で座って玩具を持って遊ぶこともできるようになりました。保育者の手を握ると足に力を入れて立ち、とても嬉しそうに微笑みながら足を動かしていて、すぐにでも歩きだしそうです。いっぱい食べてすくすく成長しているりすぐみさんです。

夏前頃までは踊りの曲が流れても音楽を聴きながら保育者やこぐまぐみの子たちが踊っているのをじっと見ていただけでしたが、今では身振り手振りをして全身で表現遊びを楽しんでいます。ジャンボリミッキーやブンバボン、妖怪体操などニコニコしながら踊る姿がとても微笑ましいです。なかには、「ミッキーさん」「ようかい」と言ってリクエストをする子もいます。トンボやカエルなどいろいろな動物になりきってリズム遊びも楽しんでいます。



身のまわりのことが一人でできるようになってきたこぐまぐみの子どもたち。給食を食べた後、洋服が汚れたことに気づくと、「汚れた。着替える。」と言って服を脱ぎ、ロッカーから洋服を自分で選んでいます。上の服は脱着が難しく、「できない」と言う子もいますが、保育者がちょっと手伝うだけで脱いだり着たりできるようになりました。保育者が手伝おうとすると「自分でする」と一人で挑戦する子もいて、着替えることができると「できた」と嬉しそうに見せてくれます。



お絵描きやシール貼り、絵の具などを使った製作遊びが大好きな子どもたち。いつも集中して取り組んでいます。

9月はにじみ絵でコスモスを製作したり、のりを使ったりして遊びました。水性ペンでお絵描きをした後、筆を使って水をつけ、描いた絵がにじんで変化していくのを不思議そうに見る子、筆に何度も水をつけて楽しむ子など思い思いに楽しんでいました。のり貼りでは、うさぎぐみは初めてののりを使ったので手につけて感触を楽しむ子が多く、こぐまぐみは上手にのりをつけていて成長を感じました。

今後子どもたちの興味がある材料、素材でいろいろな感触を楽しみながら手先を使った遊びができるように工夫していきたいと思っています。

おなかがい!

日中はまだ暑いので半袖でも十分ですが、朝夕は肌寒いので上着など羽織って登降園されるといいと思います。気温をみながら衣類の調節をしていきたいと思っておりますので、半袖と薄手の長袖の着替えをお願いします。

